

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所 ほとほら授産所

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 TEL/fax 024-575-4355

### 2月の主な行事

2月 3日(木) 節分のつどい  
5日(土) 土曜利用日  
8日(火) 工賃支給日

### 2月誕生月のみなさん おめでとうございます

佐藤利彦さん 小林陽平さん 大橋春寧さん  
岩崎真由美さん 佐藤 瞬さん  
誕生月おめでとうございます。誕生会は3月生まれの方と一緒に3月4日に行います。お楽しみに。



## 令和4年の新春祝う



### ほとほら授産所新年を祝う会開催



佐藤静香さんの乾杯の発声で会食を始めました

新年1月8日、土曜利用日にあわせてほとほら授産所利用者さんの「新年を祝う会」を食堂休憩室で行いました。

午前の作業を早めに済ませ11時45分から始まりました。開会のことばを当日の週番長武田忠さんが務め、中木所長からお正月の祝いのあいさつがあり、新たな年を迎えたよこびとめでたさを込めて「あけましておめでとうございます」とあいさつをすることや、お正月飾りやお節料理の意味や、利用者さんたちが1年間元気で授産所に通えますよう祈りますとお話がありました。続いて新年を祝う歌「一月一日」と、法人歌「あぶくま福祉会の歌」をみんなで歌い、昨年新成人だった佐藤静香さんが乾杯の発声を行い、会食が始まりました。



お正月の歌を歌う利用者さんたち



飛沫拡散防止にテーブルを仕切って、いただきました



新年を祝ってお寿司会食

今年も飛沫が飛散しないようテーブルの中央に仕切りを設け、感染拡大の防止につとめ、黙食でお寿司やお菓子、飲み物をいただきました。

会の結びは、副週番長の菊地昭広さんが閉会のあいさつを行いました。

コロナ感染が依然として心配されるお正月となりましたが、皆でお昼を豪華にいただき、お正月を祝う有意義な集いとなりました。



## 今思うこと



ほどはら授産所保護者会  
副会長 高橋 みよ子

新年あけましておめでとうございます。

2022年が素晴らしい年でありますよう、お祈り申し上げます。

新しい年に入り、新型コロナウイルス感染症が全くおさまらない日々を過ごし大変な毎日のことと思います。健康第一なので感染しないように日々気をつけていきたいと思います。

さて私の娘 ほどはら授産所に通所二十数年になります。一からの出発でした。話すこと、書くこと、自分の言いたいこと、今日出来ても明日になると出来ない、大変な毎日の繰り返しの日々もあり心配でした。

一年、三年、五年と年数がたつにつれ、一つ一ついろんなことが出来るようになってきました。職員からのおたよりに良いこと、悪いことが書かれてあり、ありがたいと思いました。

今では一日も休むことなく元気に通っています。授産所の規則正しい生活が身につき、家庭での生活も安定しています。今思うと成長したなあと思う毎日です。所長さん、職員の方々のご指導に対して感謝の気持ちでいっぱいです。

一步一步の道のりは長いですが、でも確実に成長につながります。健常者も障がい者も大切な人、前を向いて頑張ってください。コロナにならないよう気をつけて、明るく楽しくお仕事ができるよう見守っていきたくと思います。

最後に、コロナ感染症のため、保護者会の集まる場がなくなり残念です。年間を通して保護者会の活動がいろいろあります。若い保護者の皆様のご参加をどうぞよろしくお願いいたします。

# クリスマスと12月・1月誕生者を祝う



二人のサンタさん登場

サンタさんからプレゼントをいただく利用者さん



誕生者に誕生花コースターを贈呈

12月24日、「ほどはら授産所クリスマス会」と「12月・1月誕生者を祝う誕生会」を開きました。

齋藤朝之さんの開会のことばに始まり、中木所長があいさつ、クリスマスの意義、誕生者が生まれた年の出来事などを交え、クリスマスと、誕生者の皆さんへのお祝いの言葉がありました。そのあとみんなでクリスマスソングを歌い、サンタクロースの登場を待ちました。今年は、特別二人のサンタさんが会場に現れ、大盛り上がりになりました。二人のサンタさんから利用者さんにクリスマスプレゼントが配られました。

続いて、誕生会のセレモニーが行われ、12月と1月生まれの方がたが前に整列、みんなでハッピーバースデーを歌ってお祝いしました。所長からバースデーカードのコースターがプレゼントされ、誕生者へのインタビューでは「お仕事頑張ります」と力強い言葉が聞かれました。

そして佐藤利彦さんがクリスマスと誕生者を祝って乾杯の発声を行い、みんなでジュースとケーキをいただきました。

12月生まれ 氏家絃希さん 本田真由美さん  
永井勇基さん

1月生まれ 佐藤修二さん

みなさん、おめでとうございます。



氏家絃希さん



佐藤利彦さんが乾杯の発声



本田真由美さん



永井勇基さん



佐藤修二さん

# オミクロン株感染対策 Web 研修受講



研修を受講する管野作業支援員

1月19日、福島県障がい福祉課と高齢福祉課主催による「新型コロナウイルスのオミクロン株への感染対策にかかる Web 研修会」がオンライン方式で行われ、当施設からは管野富江作業支援員（グループホーム職員兼務）が受講しました。

当日は、パソコンによる受講で、福島医科大学金光敬二教授によるオミクロン株の特性や感染力の強さ、感染予防の方法などの講義がありました。その中で、風邪に似た症状で、予防にはアルコールが有効であること、陽性でも無症状であり風邪と見分けがつかなく、すでに周りの人間が陽性になっている可能性があるなど予防に力を入れるようにとの分かりやすいお話がありました。本研修は、だての郷佐藤史江支援員も同時刻に受講、法人一丸となって感染予防に努めてまいります。保護者の皆様のご協力よろしくをお願いします。

## 火災通報訓練と避難訓練を実施



119番通報をする佐藤管理者

12月21日、午前10時20分、ほどはら授産所倉庫から出火した火災を想定して、消防本部への119番通報訓練と避難訓練を行いました。

通報訓練は消防本部に火災を知らせる119番通報を行うもので、年に2回行うことになっており、令和3年2回目の訓練となりました。佐藤管理者が119通報、火災の状況を知らせ消防者の出動を要請。避難については、利用者さんたちは煙を吸い込まないよう鼻を抑え、慌てることなくスムーズに玄関前へ逃げ遅れなく避難することができました。

**編集後記** 今年の年末年始は、例年になく大雪となりました。寒いが続いています。幾分朝夕の日は伸びましたが、節分までは大寒です。1年で最も寒い時期です。体調管理に気をつけ、寒さとコロナに負けないようお体ご自愛を▼そのコロナですが、先日の通知にも書いたとおり、オミクロン株は感染力が非常に強く、1日当たりの新規陽性者が毎日最多記録を更新中です。デルタ株の陽性者もあり、感染者のピークアウトがいつになるか予測がつかない状況にあるとの専門家の見解に、不安がつのります。身近なところで患者さんやクラスターが出ており、今まで以上に気をつけて取り組んでいかないといけないと思っています。当施設に迫って来ること十分に考えられます。日々の生活から感染予防に努めていきたいと思います▼ほどはら授産所待望の大型ハウス工事が着々と進んでいます。降雪のため遅れもありますが、3月末完成目指し作業員さんたちが一生懸命仕事を進めています。1月最終週は晴れ間の日が続く、屋根にビニールがかけられハウスらしくなってきました。ハウス完成とともに季節が春に近づくんだなあと思う今日この頃です。もう少し寒さとコロナ禍を我慢する日々が続きます。みんなで頑張りましょう (M)